

2019年

## ほけんだより 4月号



H31. 4. 3

生日台ピノキオこども園 看護師 合屋

御入園、御進級おめでとうございます。桜の花が満開に咲き誇り春風にのって舞っています。

園庭で遊んでいる子どもたちの顔が進級に伴いいつもより落ち着いて見えます。嬉しいですね。今年度も又、“ほけんだより”をとおして色々お声かけをしていきます。よろしくお願い致します。



3月初め、私事ですが熊本での研修をうけて来ました。テーマは“子どものみかた！「観方」「診方」「味方」と題して、

- ① 熊本地震をとおして緊急時の対応
- ② 保育園における感染症とワクチンの重要性
- ③ 保育の実際、子どもの実際、子どもの「気になる顔」「病気の顔」などでした。

特に興味深く感じたのが、～子どもの気になる顔～でした。

こどもは顔から、色々な情報を発信しており、顔つきから得られる情報は、心理状態、気になる異変、明らかな病気の顔に分かれるということです。

泣き顔から、悲しさや苦痛、笑顔から安心や喜びの心を知ることができます。子どもから、笑顔で“先生、おはよう”と言われると、今日も元気！ととても安心します。今後もっと子どもの顔をよくみて、一日の始まりにしたいと強く思ったところでした。

★4月は小児科健診があります

4月9日(火)



### 食物アレルギーについて

入園時の面接時、食物アレルギーの間診をします。それに基づいて、病院での検査（血液検査など）と医師の診断書に基づいて給食の除去を検討します。又、乳幼児期の（食物）アレルギーは成長とともに改善される事もありますので、半年に一回検査を受ける必要があります。



〈こども園をお休みいただく感染症〉について

① 医師の診断をうけ保護者が登園届けを記入

病名	主な症状	感染経路、 予防、治療	登園のめやす
溶連菌感染症	発熱、のどの痛みなど扁桃炎症状、全身の発しん	飛沫感染、接触感染など治療が不十分な場合、リウマチ熱や腎炎の合併症あり	抗菌薬や内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	咳、発熱、頭痛	飛沫感染、咳エチケットによる予防、又抗菌薬の治療	発熱や激しい咳が治まっている
手足口病	水疱症の発しんが手、足、口の中にできる	飛沫感染、接触、経口感染もあり 手洗いの励行 無菌性髄膜炎などの合併症もあり注意	発熱や、口腔内の水疱、潰瘍の影響なく普通の食事がとれる
伝染性紅斑（リンゴ病）	発熱、頭痛などの後頭部に紅斑	飛沫感染～咳エチケット、手洗いの励行 ※妊娠中は注意	全身状態がよいこと
ウィルス性胃腸炎（ノロウィルス）	嘔吐、下痢、発熱	接触感染、空気飛沫、手洗いの励行、便や吐物の処理はマスク、手袋使用	嘔吐、下痢の症状が治まり普通の食事がとれること ※登園再開後もウィルスは便の中に3週間以上排泄されることがあるので注意
ウィルス性胃腸炎（ロタウィルス）	白っぽい下痢便、嘔吐、発熱など、脱水症状に注意		
ヘルパンギーナ	高熱、のどの痛み	飛沫感染、接触感染、経口感染により感染するため手洗いの励行、登園後も便より数週～数ヶ月間ウィルス排泄があるのでオムツ交換注意	発熱や口腔内の水疱潰瘍の影響がなく普通の食事がとれること
RSウィルス感染症	咳、発熱など、とくに乳児は重症な呼吸器症状	飛沫感染、接触感染のため、手洗いの励行 咳エチケット、清潔など	呼吸器症状が消失し全身状態がよいこと
帯状疱疹	水疱（水ぶくれ） 痛み、かゆみなど		すべての水疱が痂皮（かさぶた）化するまで
突発性発疹	3～4日高熱の後、 解熱とともに紅斑が出現、数日で消失する	乳児期後半以降に保護者や兄弟、姉妹の唾液などから感染、合併症に熱性けいれん、脳炎、肝炎に注意	解熱し機嫌がよく全身状態がよいこと

以上のようにこども園をお休みいただく感染症についてあげました。  
感染症の予防には月齢に応じたワクチンの接種が有効です。かかりつけの小児科医と相談しながら予防接種をうけましょう！！

② 医師が記入した意見書が必要

病名	主な症状	感染経路、 予防、治療	登園のめやす
麻疹（はしか）	高熱、咳、結膜充血 発しん（赤みが強い）	飛沫感染、肺炎、熱性けいれん 脳炎など合併症あり注意	解熱後3日を経過
インフルエンザ	高熱、食欲不振、咳、筋肉痛など	流行期前にワクチン接種（13才未満は2回）しておくこと予防や重症化予防に効果がある 肺炎、中耳炎、熱性けいれん、脳症などに注意	発症後5日を経過し、かつ解熱した後3日（乳幼児）を経過していること
風しん	発しんが顔、頸部、全身に拡大し3日間で消失	飛沫感染、 ワクチンが有効 先天性風しん症候群に注意	発しんが消失していること
水痘（水ぼうそう）	発しんが顔、頭部に出現し全身へ広がる	ワクチンが有効 合併症、脳炎、肺炎、肝炎など注意	全ての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ、ムンプス）	発熱 唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）の腫脹	唾液を介した飛沫感染、又は接触感染 合併症として、髄膜炎、難聴、脳炎、精巣炎、卵巣炎など注意	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現後5日以上経過していること、かつ全身状態がよいこと
咽頭結膜熱（プール熱）	高熱、扁桃腺炎、結膜炎	飛沫感染や接触感染であり手洗いの励行	発熱、目の充血などの主な症状が消失後2日を経過していること
流行性角結膜炎（はやり目）	目の充血、眼脂（目やに） 涙目など	飛沫感染、接触感染、プールの水、手洗い励行、タオルの共用を避ける	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	咳が続く	飛沫感染	咳が消失していること 又は5日間の抗菌薬による治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）	水様下痢便や腹痛、血便など	経口感染や接触感染、肉類の十分な加熱、手洗いの徹底など	医師より、感染の危険がないと認められるまで
結核	咳、慢性的な発熱、食欲不振、疲れ易さ	空気感染であり、予防はBCGワクチン接種	医師により感染の恐れがないと認められていること
急性出血性結膜炎	結膜の充血、目やに	飛沫感染、接触感染 手洗いの励行、タオルの共有をしないなど	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	発熱、頭痛、嘔吐	飛沫感染、接触感染、歯ブラシや食事用具を共有しない	医師により感染の恐れがないと認められるまで